

令和2年度 徳島県自転車活用検討委員会

日時：令和3年3月18日（木） 10:00～

場所：職員会館 第1、第2会議室

～ 議 事 概 要 ～

■議事（1）徳島県の自転車活用推進に係る取組状況について（1／2）

（事務局）

【資料1】により説明

（山中委員長）

JR駅の駐輪場の整備について、山本委員から補足等はございませんか。

（山本委員）

利用者が多く公共駐輪場が無い府中駅において、駅の改築に合わせて徳島市が駐輪施設を整備する方向で協議を進めており、来年度中に工事に着手すると聞いています。

（中西委員）

4点申し上げます。

1点目は、潜水橋の通行について。地元の道路利用者は通過が目的であるのに対し、観光客は風景を楽しみながら時間をかけて通行することが想定されるため、幅員が狭い潜水橋の通り方を周知することや地元利用者と観光利用者が安全に通行できるルール作りが必要と思います。（近藤委員も同様の意見あり）

2点目は、鳴門公園周辺について。現在、鳴門公園は車両は一方通行となっているところに、自転車が自由に走行すると事故の元になる。大鳴門橋に自転車道が設置される場合には、自転車の通行が増えるため一方通行の周知もしくは別運用とするならその運用の周知が必要と思います。

3点目は、道の駅について。道の駅はサイクリングの休憩地点としても活用が期待できるが、サイクルラックの場所が分からなかったり、自動車ドライバーがスピードを出して道の駅内を走行する事例も有り危険であるため、サイクルラックの設置場所を案内するピクトを設置することにより、サイクリストの利便性が向上することはもとより、自動車ドライバーに対する自転車利用者への配慮などの意識啓発が期待できると思います。

4点目はお遍路サイクルについて、日本在住の外国人サイクリストからお遍路サイクルに関する問合せを受けることが有り、海外からの旅行者が戻ってくると、さらにお遍路サイクルが注目されると実感しており、おもてなしの一環として寺院にサイクルラックが必要と思います。

（事務局）

潜水橋の通行ルールの周知について、道路利用者や道路管理者の意見を聞きながら検討してまいります。鳴門公園周辺の通行方法については、大鳴門橋への自転車道設置に係る受入環境整備の中で検討してまいります。

道の駅については、現在使われている道の駅や4月にオープンするいたのについては、利用状況を確認してまいります。また、現在建設中のくるくるなるとについては、国土交通省及び鳴門市と情報共有してまいります。お遍路サイクルにかかるサイクルラックの設置については、寺院に御協力いただけるよう働きかけてまいります。

(近藤委員)

お遍路サイクルについては、4県で連携して取り組むことが重要と思います。

(オブザーバー(スポーツ振興課))

四国4県の関係課で連携する協議会において、四国の縁を一周するルートを設定し、様々なキャンペーンを実施しています。その中で、他のコンテンツについても連携を図るべきとの意見があり、本県としては一番札所もあることからお遍路サイクルの連携を呼びかけているところで、今後も4県による連携を検討してまいります。

(牛尾委員)

大鳴門橋について、県外からの利用者が多く見込まれることから、自転車で渡るだけでなく、観潮船とのコラボなど、滞在時間を長くする取組が必要と思います。

また、お遍路サイクルについても、お遍路しながら地域の食やアクティビティの体験などを合わせて行う事により滞在時間を長くする取組が必要と思います。

■議事(1) 徳島県の自転車活用推進に係る取組状況について(2/2)

(事務局)

【資料1】により説明

(山中委員長)

「自転車利用環境向上会議」(オンライン)で交通安全をテーマにした回もあるので参考にして下さい。最近の全国的な取組では、就学前の子どもに対して運動能力を高めるプログラムや遊びの要素を盛り込んだ取組、小学校では補助輪外しのイベントに合わせて交通安全教室を行うなど工夫をしている事例があります。

(近藤委員)

道路の維持管理について、偏りがないようにする必要があると思います。今後の継続した維持管理に関する取組の予定はありますか。

(事務局)

道路のパトロールを行うとともに、地域の方の声をいただくための連絡窓口の周知を行ってまいります。

(中西委員)

長期的なビジョンで徳島鳴門自転車道・徳島阿南自転車道・徳島一周自転車道と題して自動車と重ならない安全なルート設定が必要と考えています。これができると、観光だけでなく、通勤の自転車利用が増え、県民の健康増進や道路の渋滞対策にも効果があると思います。

(藤井委員)

子どものヘルメット着用率は高く、交通安全教育の効果もあって交通マナーは良いと思います。課題は高齢者のヘルメット着用率の向上と感じています。

(中西委員)

自転車組合では、自動車の運転免許を返納された方へのヘルメットの割引といった取組を行っています。

(仁木委員)

徳島県スポーツ振興財団は、鳴門大塚スポーツパークなどの指定管理者として、様々な運動教室を開催しています。教室は屋内が中心のため、自転車を使った取組はございませんが、自転車に関する安全なプログラムなどがあれば県内の総合型地域スポーツクラブに紹介することで、スポーツクラブにおける自転車の活用推進に繋がると思います。

(朝日委員)

大鳴門橋の自転車道設置について、目標年次を示すことで受け入れる側の意識が変わってくると思います。

ヘルメットの着用について、自動車のシートベルトのように習慣づけることが重要だと思います。例えば、二輪車のように自転車にヘルメットを収納（取り付け）できる場所を作るなど車体の工夫ができれば着用率の向上が期待できると思います。

(小泉委員)

様々な取組について、市町村への情報共有をすることで、さらに県全体の取組推進に繋がると思います。

(小原委員)

徳島エコスタイルの自転車通勤の促進について、県市町村が一体となって率先して取り組んでいただきたいと思います。

(山本委員)

徳島中心部の自転車通勤を促進するとともに、自動車通勤から自転車と公共交通を組み合わせた通勤への転換も自転車活用や徳島エコスタイルに有効な手段と思います。

■議事（２）徳島県自転車活用推進計画の基本目標について

(事務局)

【資料２】により説明

(山中委員長)

自転車の事故対策は、交差点対策が重要であり、交差点の明示や左側通行の徹底に繋がる対策が必要と思います。

市町村の自転車活用推進計画が策定され取組が進むと、計画がある市町村と無い市町村で事故減少に差が出てくると思われるので、統計データの分析をお願いします。

(以 上)